



9.17府庁東門・街頭演説と周辺デモに150人

山田 京都府知事 は米軍基地設置を認めるな!!

本日(19日)午後5時、府庁正門前・緊急抗議行動!!



17日、6620筆の署名を京都府に提出。
総計・29,476筆の提出となりました。

9月17日「京都に米軍基地はいらない府民の会」は、府庁東門で昼休み街頭演説と府庁周辺のデモを行いました。150人がこの行動に参加しました。

街頭演説の冒頭、司会の京都総評・梶川憲事務局長は、「台風18号の被災で、府民の安全が問われているときに、米軍基地は持ち込ませてはならない」と訴えました。デモ終了後、府当局に6,620筆(第3次分)の署名を提出しました。

知事の受け入れは断じて許されない

◆京都総評 議長 吉岡 徹さん

代表委員の京都総評・吉岡徹議長は、「住民の意見を無視して、防衛大臣と会談し受け入れを表明しようとする京都府知事は断じて許されない。滋賀・あいば野で行われるオスプレイ参加の日米初の戦闘訓練反対の運動と連帯し関西規模の大きなとりくみを広げよう」とよびかけました。

「私たちは、沖縄と同様にあきらめない」

◆新婦人京都府本部会長 森下 総子さん

同じく代表委員の新婦人京都府本部・森下総子会長は、「電子レンジの何万倍といわれる電磁波、160人も軍人の配置で沖縄化し、地位協定の下で被害者となる不安を、防衛省は『伝えます、検討します』というばかり、しかし、私たちは沖縄の人たちと同様にあきらめない」という地元・京丹後在住の女性からの手紙を紹介しました。

地方自治の責任放棄を許さず、共同を広げよう

◆「府民の会」事務局長 戸田 昌基さん

「府民の会」・戸田昌基事務局長は、「青森・車力では、わずか3か月で基地が設置された。京都ではわれわれの運動で6か月たっても受け入れを言えない状況をつくってきた。知事は、基地設置理由を『国益』としかいえず、『やむなし』として、地方自治の責任を放棄しようとしている。さらに共同の輪を大きく広げよう」と訴えました。

軍事同盟にしがみつくとなく、全国知事会長としての申すべき

◆京都府職労連委員長 森 吉治さん

京都府職労連・森吉治委員長は、台風18号の被災者へののお見舞いと関係者の寝食を忘れた努力に敬意を表し、地方自治体の役割が問われているとして、「今日、軍事同盟にしがみつくとなく、全国知事会長としての申すべきだ。」と訴えました。

住民の末代まで苦しめる米軍基地はいらない

◆日本共産党・京都府会議員 成宮 まり子さん

日本共産党京都府会議員団・成宮まり子府会議員は、「知事が受け入れを表明すれば、直ちに撤回を求めたい。防衛大臣はわずか15分の会談で『政府が責任を持つ』といったが、米軍は知らん顔。あいば野で初の戦闘訓練が行われ、オスプレイが京都上空にも飛ぶことが懸念され、騒音と墜落不安が伴う。京丹後の基地は、日米地位協定の下での基地となり、住民は末代まで苦しめられることになる。米と戦争できる道をとってはならない。」と訴えました。

・発行:米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称:京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先:京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149